

リモートワークに関する調査

－地方圏に住む大学生の6割が「リモートワーク正社員」としての採用に関心－

大正大学地域構想研究所は、地方圏に住む大学生を対象に、「リモートワーク正社員」として首都圏の企業に採用されることについてどのように考えるかを把握するため、インターネット調査を実施しました。その結果、地方圏に住む大学生の6割が「リモートワーク正社員」として首都圏企業に採用されることに関心があることがわかりました。

大正大学地域構想研究所では地域と連携し社会に貢献するため様々な取組を実施しております。今後、地方創生や働き方改革の観点も勘案し、本調査で確認できたリモートワークに対する関心やリモートワークが地方創生に持つ可能性等を踏まえた取組や研究をさらに進めて参りたいと考えています。

【調査結果概要】

- 地方圏^(注1)に住む大学生の「リモートワーク」^(注2)という働き方についての印象は、「今後様々な分野で広まる」が30.7%で最多、「わからない」(29.9%)、「一部の限られた仕事でのみ可能」(19.7%)、「IT分野など限られた分野で広まる」(18.2%)が続いた。

(注1) 地域区分としては次のとおりとした。

首都圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

大阪圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県

地方圏：三大都市圏（首都圏、名古屋圏、大阪圏）以外の地域

なお、本調査では、調査対象から地方圏のうち政令指定都市がある県に住む大学生も除いた。

(注2) 本調査における「リモートワーク」は、在籍する会社のオフィスにはほとんど出勤せず（例えば1、2週間に1回だけ出勤する）、基本的には自宅や自宅近くのサテライトオフィス（企業または団体の本拠から離れたところに設置されたオフィス）など、会社から離れた場所で業務を遂行する勤務形態を指す。また、「リモートワーク正社員」は、もっぱら「リモートワーク」で働く正社員を指すこととする。

- 首都圏企業に「リモートワーク正社員」として採用されることについて、「少し関心がある」が41.1%で最も多く、次いで「関心がない」(22.1%)、「非常に関心がある」(18.4%)、「わからない」(18.5%)が続いた。「非常に関心がある」と「少し関心がある」を加えると59.5%と約6割となった。
- 「リモートワーク正社員」として採用されることに関心がある者がリモートワークに関心があるとする理由は、「出身地に住みたいと思うから」(47.7%)が最も多く、「現居住地に住み続けたいと思うから」(28.5%)、「リモートワークにチャレンジしてみたいから」(27.3%)、「出身地には就きたい仕事がないが、リモートワークによりそうした仕事ができるから」(25.7%)が続いた。
- 「リモートワーク正社員」に関心がある者が、リモートワークをする場合必要だと思う入社頻度は、「1週間に1回」(41.8%)が最多で、次いで「1ヶ月に1回」(26.3%)、「2週間に1回」(23.2%)が多か

った。

- 「リモートワーク正社員」に関心がある者が、リモートワークをする場合に必要と考える条件は、「テレビ会議などができるような IT 環境の整備」が 69.9%で最多となり、「会社と疎遠にならないよう社内の様々な情報の提供」(66.7%)、「サテライトオフィスの整備」(58.0%)が続いた。
- 「リモートワーク正社員」に関心がある者がリモートワークをする場合に心配なことは、「仕事で困ったことがあったとき相談できないのではないか」(66.7%)が最多で、次いで「職場で仲間を作ることができないのではないか」(45.9%)、「仕事の内容がはっきりしないのではないか」(39.8%)との回答が多かった。
- 「リモートワーク正社員」としての採用に「関心がない」と回答した者が、関心がないとする理由は、「これまで考えてみたこともなかったから」が 62.2%と最多で、次いで「リモートワークだと仕事が限られてしまうと思うから」(39.6%)が多かった。
- 仕事を選ぶ上で最も重視することとして重視する順に順番をつけてもらい、1 位のみをみたところ、「収入が多い」(20.5%)が最も多く、次いで、「自分の好きなことができる」(20.3%)、「休みが多いなどワークライフバランスが実現できる」(16.6%)、「安定していて長く続けられる」(14.5%)が続いた。これらの 1 位に選んだ者が多かった5項目について、その項目を 1 位に選んだ者のグループごとに、「リモートワーク正社員」としての採用についての関心をみると、「リモートワーク正社員」としての採用に関心がある者の割合は「ワークライフバランスが実現できる」ことを最重視するグループにおいて最も多く(64.5%)、「リモートワーク正社員」としての採用に関心がない者の割合は「安定していて長く続けられる」ことを最重視するグループにおいて最も多かった(29.8%)。

【調査概要】

- ・調査目的: 地方圏に住む大学生が「リモートワーク正社員」として首都圏の企業に採用されることについてどのように考えるかを把握する
- ・調査対象: 3大都市圏(首都圏、大阪圏、名古屋圏)以外の地方圏に住む大学生(大学院生を含む)
- ・回収サンプル数: 833 人(男性 267 人、女性 566 人)
- ・調査時期: 2018 年 10 月
- ・調査方法: インターネット調査(NTTコムオンライン・マーケティング・ソリューション(株)委託)

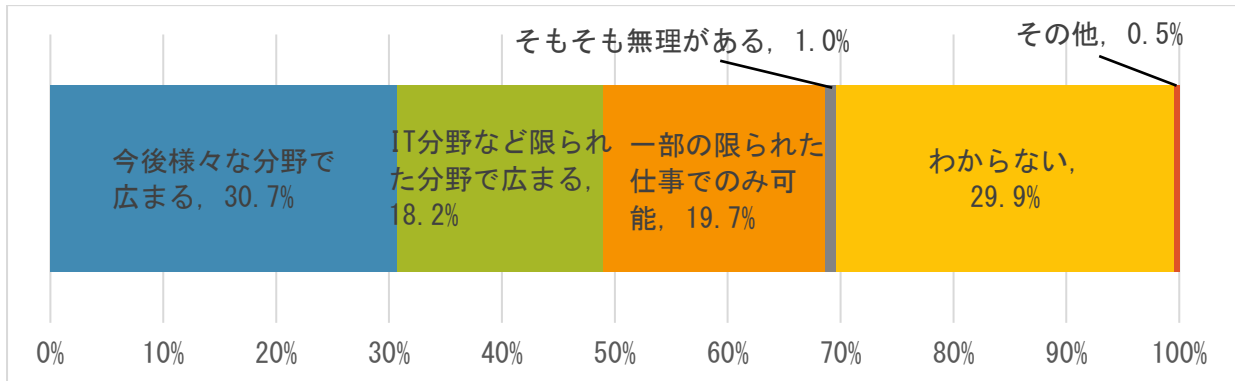
【本調査についての照会先】

大正大学地域構想研究所プロジェクトつなぐ事務局
塚崎裕子・中村正樹
(電話) 03(5944)5482
(ファックス)03(5934)3055

【調査結果】

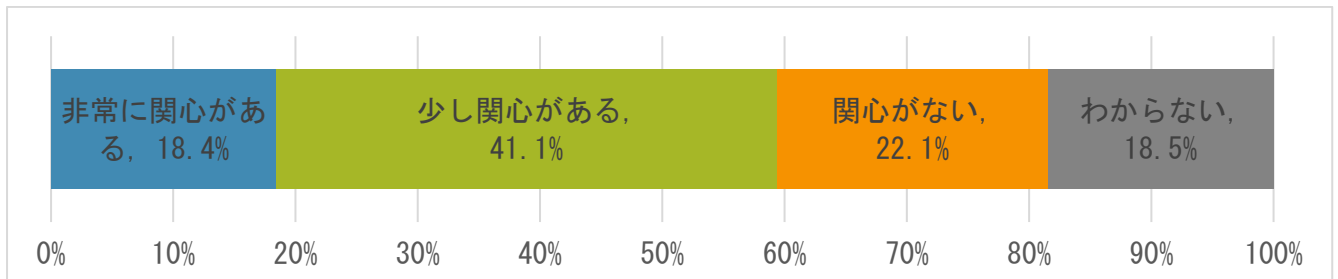
1. リモートワークという働き方について

- 地方圏に住む大学生に「あなたは『リモートワーク』という働き方についてどのような印象をお持ちですか」と聞いたところ、「今後様々な分野で広まる」が 30.7%で最多、次いで「わからない」(29.9%)、「一部の限られた仕事でのみ可能」(19.7%)、「IT 分野など限られた分野で広まる」(18.2%)が続いた。

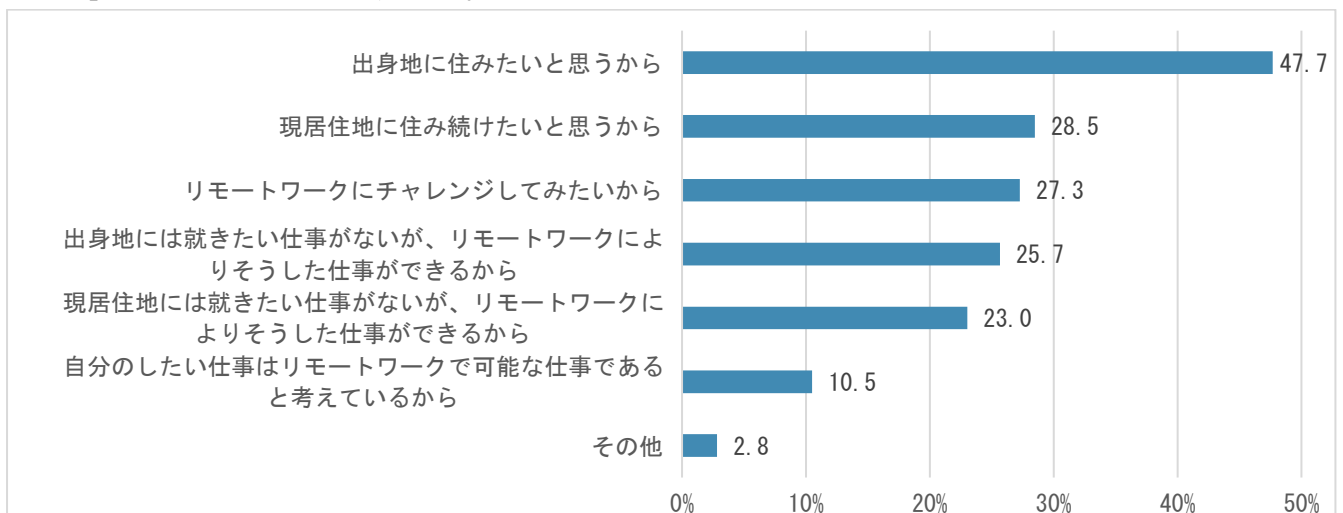


2. 「リモートワーク正社員」としての採用への関心

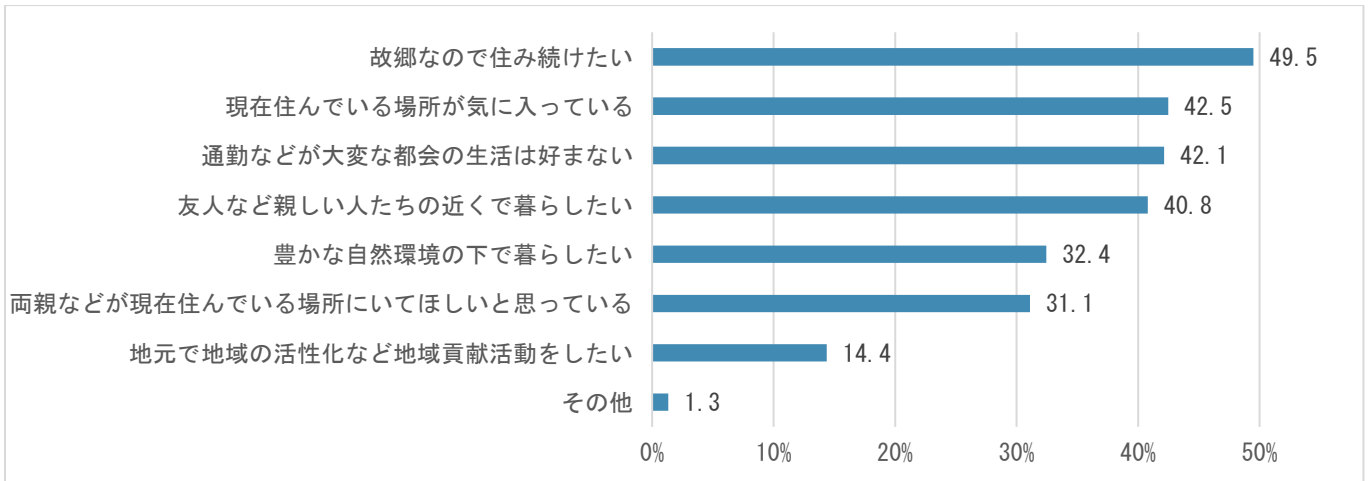
- 地方圏に住む大学生に、首都圏企業が「リモートワーク正社員」としての採用をするとした場合、「あなたは『リモートワーク正社員』としての採用に関心がおありですか」と聞いたところ、「少し関心がある」が41.1%で最多で、「関心がない」(22.1%)、「わからない」(18.5%)、「非常に関心がある」(18.4%)が続いた。「非常に関心がある」と「少し関心がある」を加えると 59.5%、約 6 割となった。



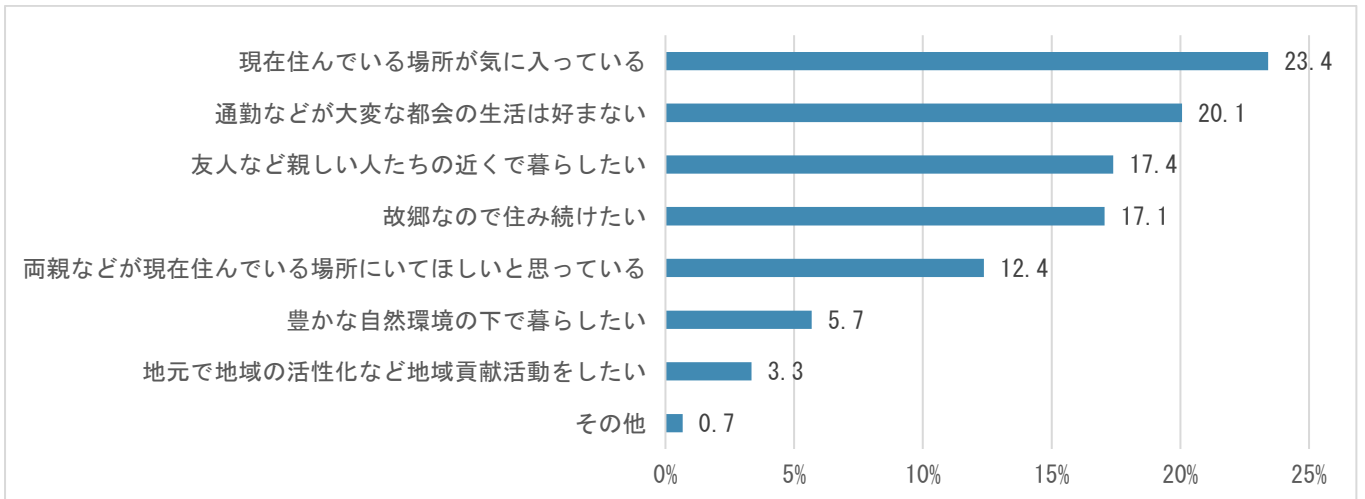
- 「リモートワーク正社員」としての採用に「非常に関心がある」か「少し関心がある」と回答した者(以下「『リモートワーク正社員』としての採用に関心がある者」とする)に、「リモートワークに関心があるとする理由は何ですか」と聞いたところ(複数回答)、「出身地に住みたいと思うから」(47.7%)が最も多く、「現居住地に住み続けたいと思うから」(28.5%)、「リモートワークにチャレンジしてみたいから」(27.3%)との回答が続いた。



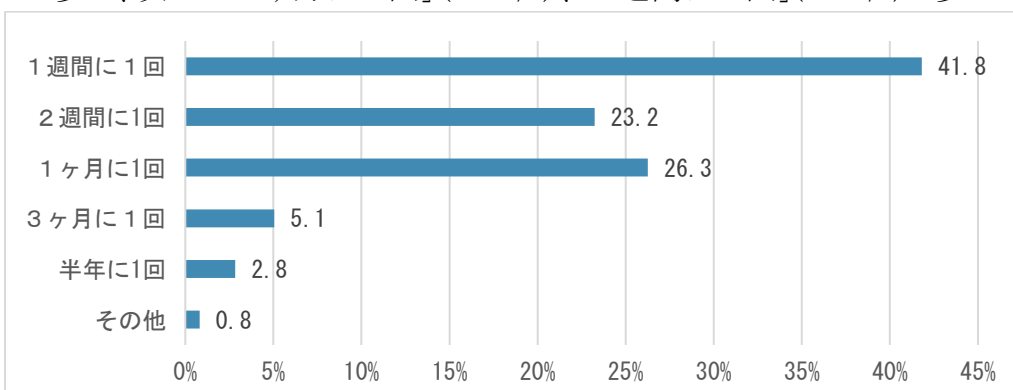
- 現居住地或いは出身地に住みたいと思っている者に、「住みたいと思っている理由は何ですか」と聞いたところ(複数回答)、「故郷なので住みたい」が49.5%と半数近くで最も多く、「現在住んでいるところが気に入っている」(42.5%)、「通勤などが大変な都会の生活は好まない」(42.1%)、「友人など親しい人たちの近くで暮らしたい」(40.8%)が続いた。



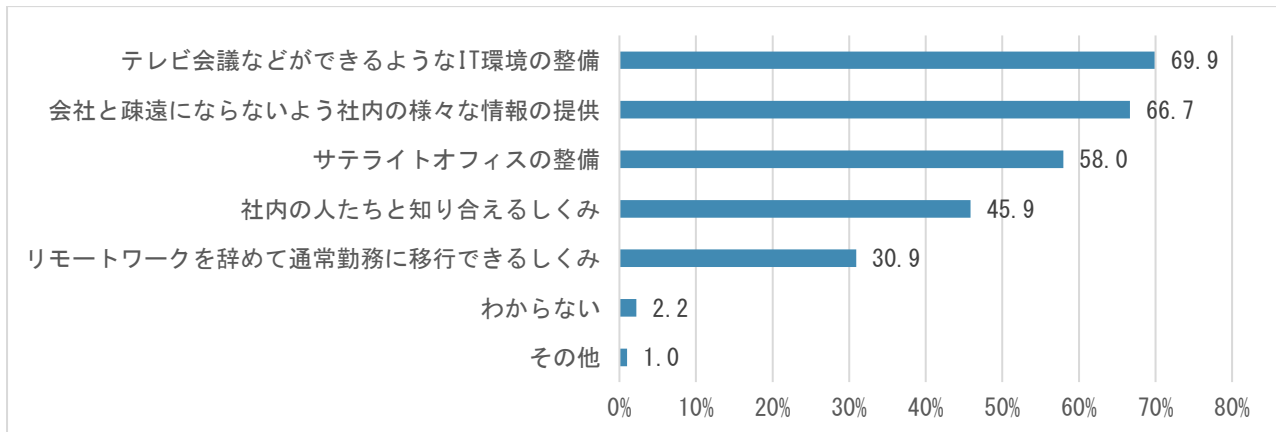
- 現居住地或いは出身地に住みたいと思っている理由の中で、主な理由となっている順に順番をつけてもらい、1位のみをみたところ、「現在住んでいるところが気に入っている」(23.4%)が最も多く、次いで「通勤などが大変な都会の生活は好まない」(20.1%)、「友人など親しい人たちの近くで暮らしたい」(17.4%)、「故郷なので住みたい」(17.1%)が多かった。



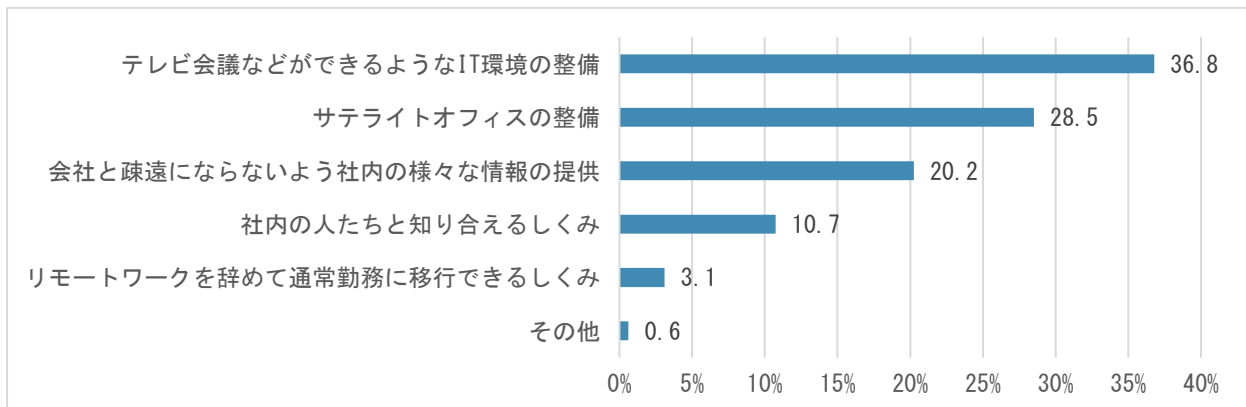
- 「リモートワーク正社員」としての採用に関心がある者に、「リモートワークをする場合、どのくらいの頻度で定期的に出社する必要がありますか」と聞いたところ、「1週間に1回」(41.8%)が最多で、次いで「1ヶ月に1回」(26.3%)、「2週間に1回」(23.2%)が多かった。



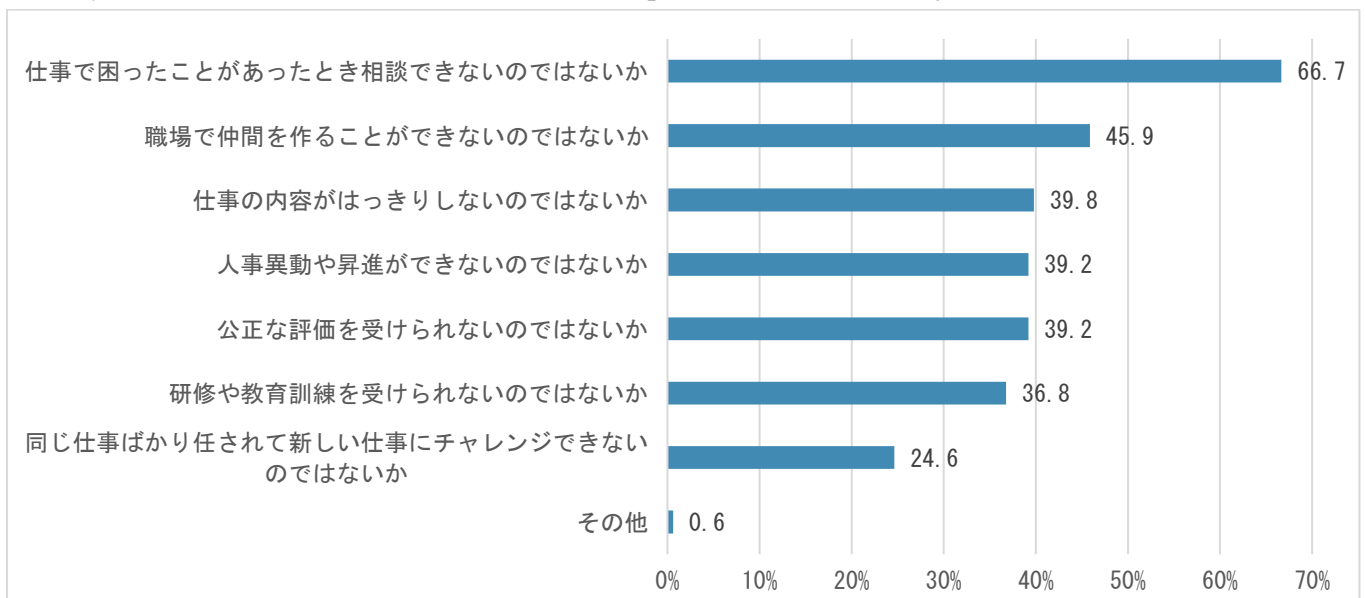
- 「リモートワーク正社員」としての採用に関心がある者に、「リモートワークをする場合、どのような条件が必要と考えますか」と聞いたところ(複数回答)、「テレビ会議などができるような IT 環境の整備」が 69.9%で最多となり、次いで「会社と疎遠にならないよう社内の様々な情報の提供」(66.7%)、「サテライトオフィスの整備」(58.0%)が多かった。



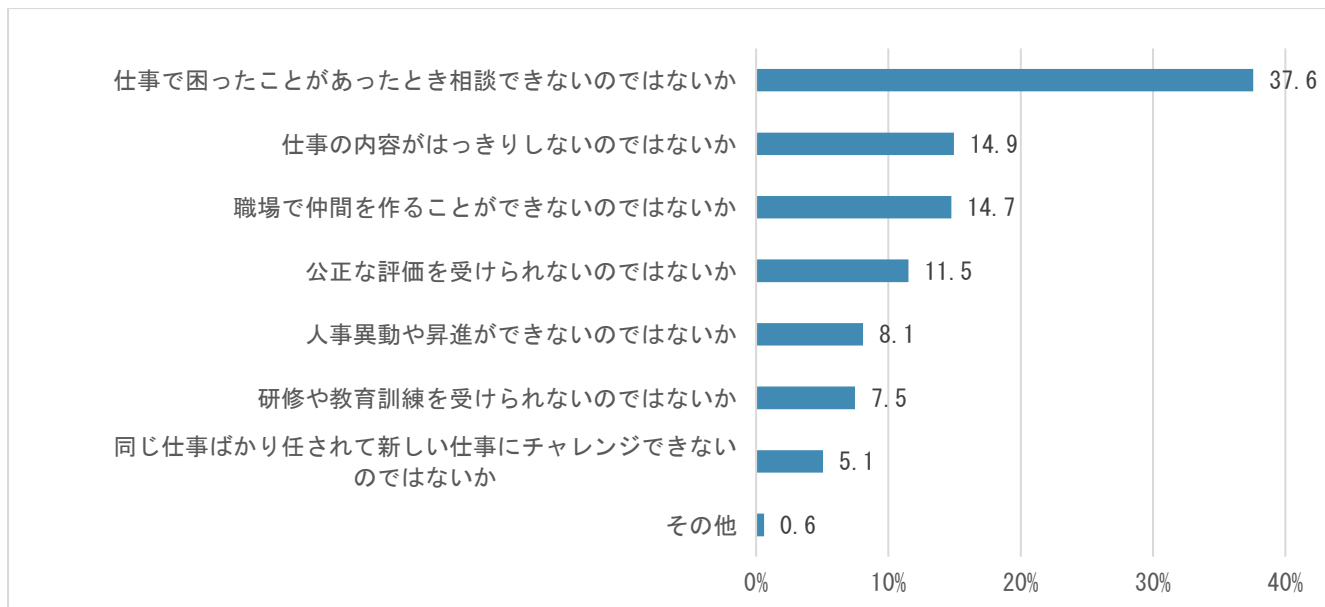
- リモートワークをする場合に必要な条件として重視する順に順番をつけてもらい、1位のみをみたところ、「テレビ会議などができるような IT 環境の整備」(36.8%)が最も多く、「サテライトオフィスの整備」(28.5%)、「会社と疎遠にならないよう社内の様々な情報の提供」(20.2%)が続いた。



- 「リモートワーク正社員」としての採用に関心がある者に「リモートワークをする場合、どのようなことが心配ですか」と聞いたところ(複数回答)、「仕事で困ったことがあったとき相談できないのではないか」が 66.7%で最多となり、次いで「職場で仲間を作ることができないのではないか」(45.9%)、「仕事の内容がはっきりしないのではないか」(39.8%)が多かった。

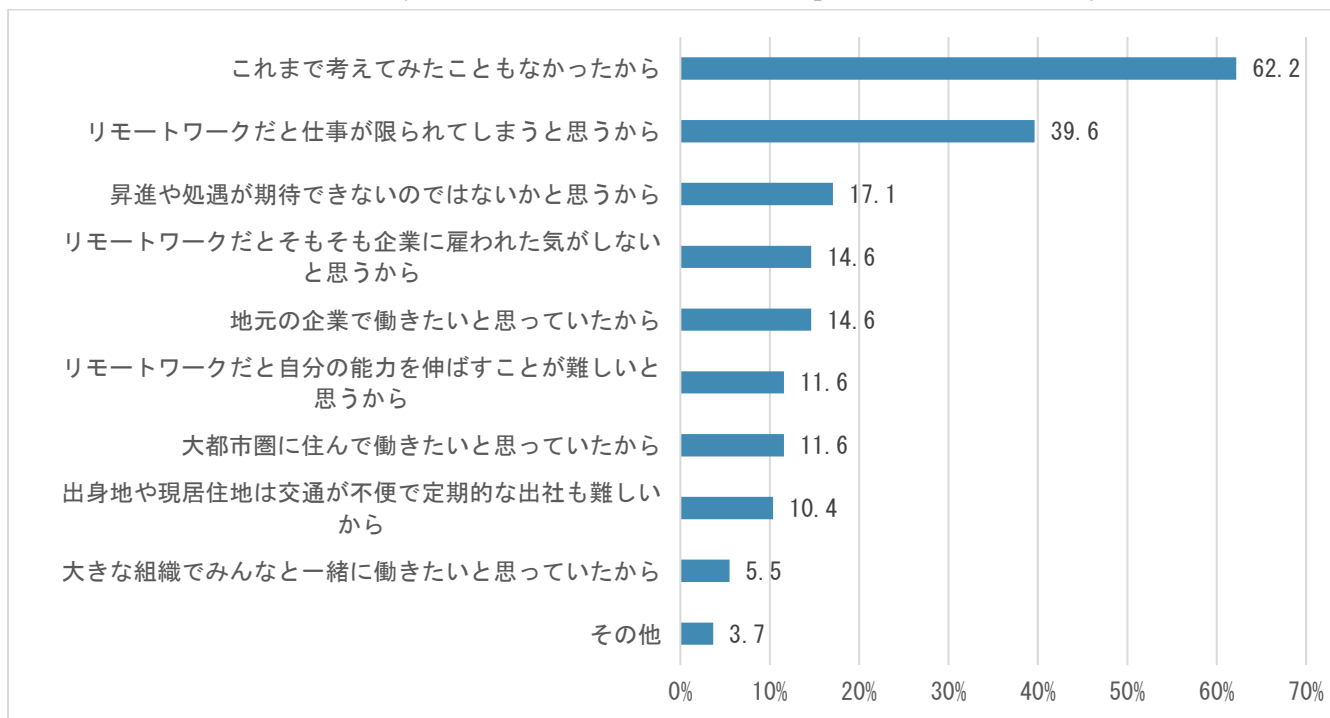


- リモートワークをする場合に心配なことのうち、心配だと思う順に順番をつけてもらい、1位のみをみたところ、「仕事で困ったことがあったとき相談できないのではないか」(37.6%)が最も多く、次いで「仕事の内容がはっきりしないのではないか」(14.9%)、「職場で仲間を作ることができないのではないか」(14.7%)が多かった。

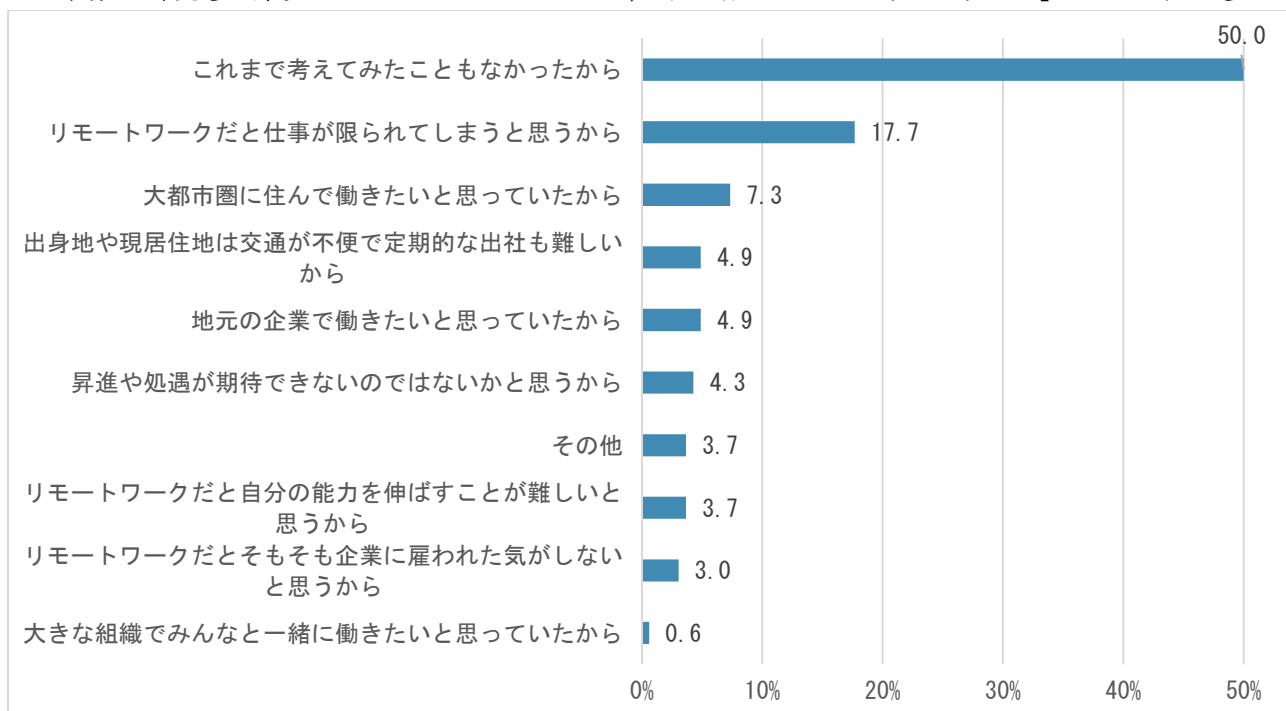


3. 「リモートワーク正社員」に関心がない理由

- 「リモートワーク正社員」としての採用に「関心がない」と回答した者に「関心がないとする理由は何ですか」と聞いたところ(複数回答)、「これまで考えてみたこともなかったから」が 62.2%と最多で、次いで「リモートワークだと仕事が限られてしまうと思うから」(39.6%)が多かった。

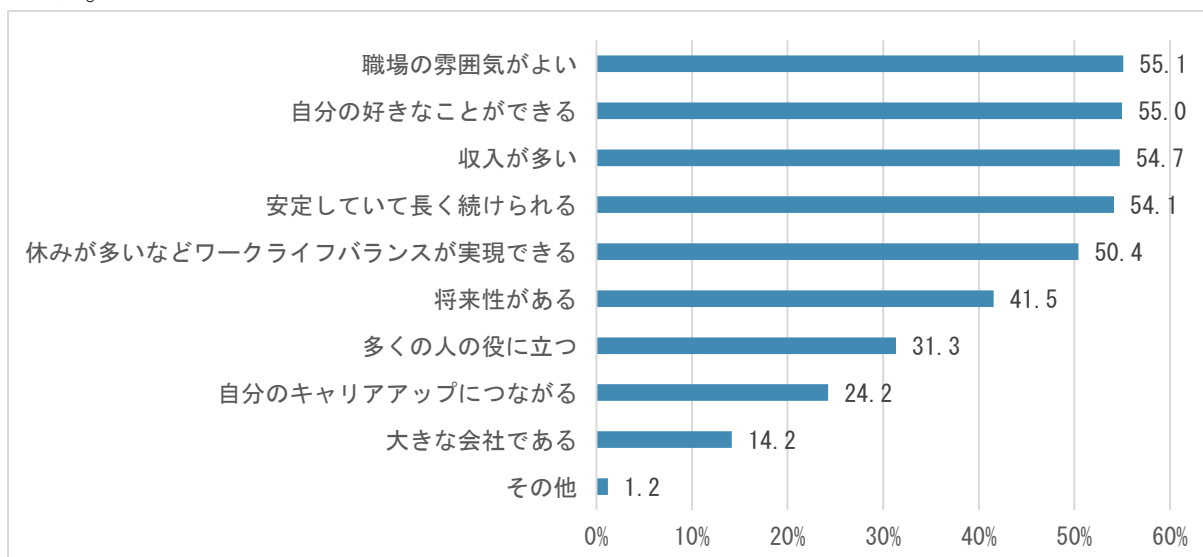


- 「リモートワーク正社員」としての採用に関心がないとする理由のうち、主な理由となっている順に順番をつけてもらい、1位のみをみたところ、「これまで考えてみたこともなかったから」が50.0%と半数で最も多く、次いで「リモートワークだと仕事が限られてしまうと思うから」が17.7%が多かった。

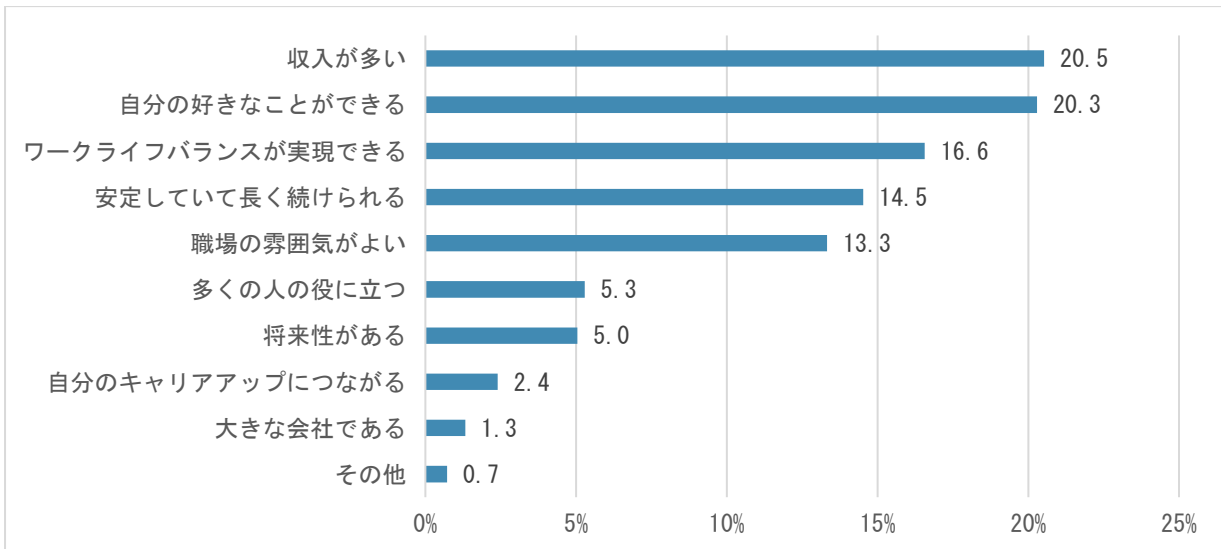


4. 仕事を選ぶ際重視すること

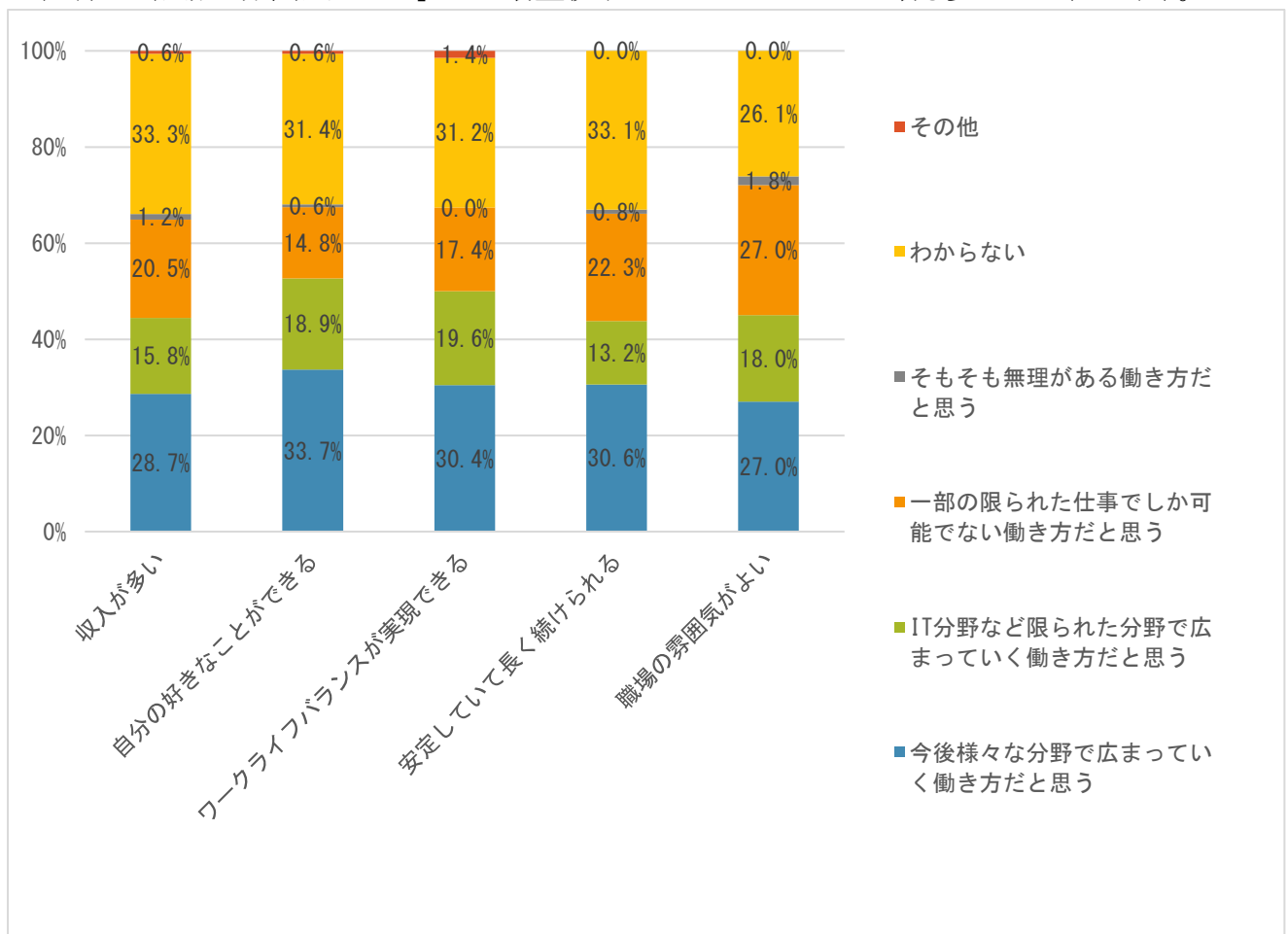
- 「仕事を選ぶ上で重視することは何ですか」と聞いたところ(複数回答)、「職場の雰囲気がよい」(55.1%)、「自分の好きなことができる」(55.0%)、「収入が多い」(54.7%)、「安定していて長く続けられる」(54.1%)、「休みが多いなどワークライフバランスが実現できる」(50.4%)が半数を超え多かった。



- 仕事を選ぶ上で重視することとして重視する順に順番をつけてもらい、1位のみをみたところ、「収入が多い」(20.5%)が最も多く、次いで、「自分の好きなことができる」(20.3%)、「休みが多いなどワークライフバランスが実現できる」(16.6%)、「安定していて長く続けられる」(14.5%)、「職場の雰囲気がよい」(13.3%)が続いた。



- 仕事を選ぶ上で重視することのうち1位に選んだ者が多かった5項目について、その項目を1位に選んだ者のグループごとに、「リモートワーク」という働き方についての印象をみると、「今後様々な分野で広まっていく働き方だと思う」者の割合は「自分の好きなことができる」ことを最重視するグループにおいて最も多く(33.7%)、「一部の限られた仕事でしか可能でない働き方だと思う」者の割合は「職場の雰囲気がよい」ことを最重視するグループにおいて最も多かった(27.0%)。



- 仕事を選ぶ上で重視することのうち1位に選んだ者が多かった5項目について、その項目を1位に選んだ者のグループごとに、「リモートワーク正社員」としての採用についての関心をみると、「リモートワーク正社員」としての採用に関心がある者の割合は「ワークライフバランスが実現できる」ことを最重視するグループにおいて最も多く(64.5%)、「リモートワーク正社員」としての採用に「関心がない」者の割合は「安定していて長く続けられる」ことを最重視するグループにおいて最も多かった(29.8%)。

